

**ツルハドラッグ 北海道最大の旗艦店舗で電子棚札の実証実験開始**  
～従業員の作業効率化とデジタル技術を活用した新たな店舗づくりの実現へ～

株式会社ツルハ  
BIPROGY 株式会社



この度、株式会社ツルハ（以下、ツルハドラッグ）と BIPROGY 株式会社（以下、BIPROGY）は、2025年3月27日開業の北海道最大の旗艦店舗「カレスサッポロダ・ヴィンチモール」内に新たにオープンした「ツルハドラッグ 北6条店」において、BIPROGYが提供する電子棚札の実証実験を開始しました。

【背景】

昨今、小売業界では労働力不足が深刻化しており、ツルハドラッグにおいても店舗の省人化や労働生産性の向上が急務となっています。特に、紙製のPOPやプライスカードの作成・交換作業は、店舗スタッフにとって負担が大きい業務であり、本実証実験では、電子棚札を導入することでこれらの業務負担を軽減し、店舗業務の効率化を実現することを目的としています。

【実証実験のポイント】

ツルハドラッグでは、2024年6月から BIPROGY が提供する小売業向け基幹システム「Core Center For Retail」<sup>(注)</sup>（以下、CCR）が稼働しています。CCR との標準インターフェース連携により、販促企画の反映をはじめ、CCR が保持するマスタデータを迅速に連携でき、スピード感のあるシステム実装が可能となります。また、今回実証する電子棚札は高い視認性とデザイン性を持ち合わせており、旗艦店舗にふさわしいものとなっています。

### 【今後の取り組み】

本実証実験を通じて、プライスカードの作成・交換作業の削減など店舗業務の効率化を目指します。さらに、継続的な効果測定を行い、ツルハドラッグにおける電子棚札の多店舗展開の可能性を検討します。

今後も、ツルハドラッグと BIPROGY は、電子棚札を活用した店舗 DX の加速を目指し、従業員の業務効率化を進めるとともに、消費者に新たな購買体験を提供していきます。また、地域の皆さまの健康と生活をより豊かにするため、さらなる店舗づくりに取り組んでいきます。



2025年3月27日開業 ダ・ヴィンチモール イメージ

ダ・ヴィンチモールは、クリニック、薬局、介護サービスが集まり、健康と暮らしを支える新しい総合商業モールです。ツルハドラッグ北6条店では、毎日の健康と暮らしに必要な商品が揃い、誰もが自分らしい生活を実現できる場所を目指します。

注：小売業向け基幹システム「Core Center For Retail」

BIPROGY が 1980 年代から 30 年以上蓄積した小売業向けシステム構築のノウハウを結集させた小売業向けソリューション。

[https://www.biprogy.com/solution/service/cc\\_retail.html](https://www.biprogy.com/solution/service/cc_retail.html)

本件に関する問い合わせ先

株式会社ツルハ北海道店舗運営本部 011-783-2754

BIPROGY 株式会社 広報部 [https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)